

国が推奨している5つのがん検診

 胃がん検診

 子宮頸がん検診

 肺がん検診

 乳がん検診

 大腸がん検診

須恵町でもがん検診を実施しています。詳細は折り込みの「令和4年度須恵町検診のお知らせ」をご覧ください。



令和2年度須恵町がん検診受診者のうち、早期がんが見つかった人が4人います。がんは早期に発見し、早期に治療すれば治る時代です！結果を恐れずに検診を受けましょう！

がんのリスクを減らす生活習慣

～がん検診とあわせて生活習慣の見直しをしましょう～



出典：国立がん研究センター

がん検診について

現在、わが国ではがんは死亡原因の第1位です。診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見、早期治療が可能となりつつあります。がん検診には、メリットとデメリットがありますが、正しい方法で検査を行うことにより、がんによる死亡を減少させることができます。

がん検診の目的

がんを早期発見し、適切な治療を行うことでがんによる死亡を減らすことです。検診は症状のない人が対象で、ターゲットとする病気を発見するために行われるものです。多くのがんを見つけることだけが、がん検診の目的ではありません。

がん検診のメリット

がんを早期にみつけ、適切な治療を行い、がんによる死亡率を減らすことです。

がん検診のデメリット

がんが100%見つかるわけではありません。検診でがんの疑いと判定され精密検査を受けても、がんが発見されなかったり、生命を脅かさないがんを発見することもあります。

がん検診の流れ



がん検診では、「がんの疑いあり（要精検）」か「がんの疑いなし（精検不要）」か、どうかを調べ、「要精検」の場合には精密検査を受けます。がん検診は、「がんがある」「がんがない」ということが判明するまでのすべての過程を指します。